

令和 4 年度
第 2 回宮城県農村振興施策検討委員会

中山間地域等直接支払交付金事業・
多面的機能支払交付金事業

現地調査・意見交換

湯原集落協定
(七ヶ宿町)

令和 4 年 10 月 25 日

七ヶ宿町農林産物保管庫（雪室）

1. 整備概要

☆事業名 平成25年度農山村活性化プロジェクト支援交付金事業
(平成24年度繰越国予算)

☆所在地 宮城県刈田郡七ヶ宿町字滝ノ上18番地1

☆構造 鉄筋コンクリート 一部2階建て

☆建築面積 378.00㎡

☆延床面積 362.70㎡ (1F 159.42㎡ 2F 203.28㎡)

☆完成日 平成26年3月31日

☆事業費

歳出

基本設計費	546千円
実施設計費	2,730千円
地質調査費	452千円
用地費	2,060千円
設計監理費	1,890千円
建設工事費	127,995千円
備品購入費	1,407千円
合計	137,080千円

歳入

プロジェクト支援交付金	51,386千円
地域の元気交付金	74,500千円
一般財源	11,194千円
合計	137,080千円

2. 管理体制

☆管理・運営

七ヶ宿町雪室管理運営組合（指定管理者）

☆利用者数

年 度	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
利用人数 (人)	19	28	37	48	57	67	64	76	

☆使用料金

米：30kg/袋、そば：22.5kg/袋、野菜・果樹：1コンテナ、漬物：1樽
4月～10月【町内者】2円/日、【町外者】4円/日
11月～3月【町内者】1円/日、【町外者】2円/日



3. その他

☆PR活動等

- ・毎年8月頃に雪室まつり開催（雪室見学案内等）
- ・併設直売所の春と秋の幸まつりで雪室見学案内の実施
- ・町外で開催するイベントへの参加
- ・ロゴマーク（ステッカーやシール等）の添付による販売
- ・のぼりやテーブルクロス作成



【雪入れの様子】



【雪室の様子】



＜保管されている作物＞
 米、そば、りんご、じゃがいも、
 栗、ブロッコリー、たまねぎ、
 タラの芽、キャベツ、大根、
 にんじん等



＜主な利用実績＞
 米 1,000袋
 そば 500袋
 野菜等 100箱
 りんご 150箱

※ 年平均で算出

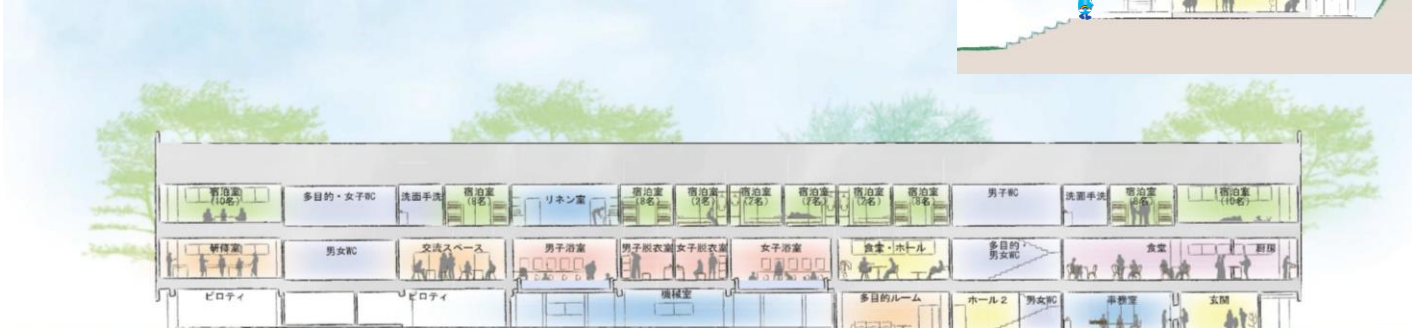
ふるさと体験交流館（街道HOSTELおたて）概要

湯原学区内の地域活力の中心であった「七ヶ宿町立湯原小学校」が平成25年度で閉校したことから、新たに「ふるさと体験交流館（街道HOSTELおたて）」として宿泊設備等を備え合わせた宿泊型交流施設にリノベーションすることにより、「雇用の創出」「農家の所得向上」「中山間地域の活性化」を図るため、田植えや稲刈りを始めとした様々な農業体験、宿泊型の都市農村交流やグリーンツーリズムを推進し、地域内の愛着の持てる施設として活用を図っています。

「ふるさと体験交流館（街道HOSTELおたて）」は、入浴場や食堂を始め、宿泊機能や体験スペース、昔ながらの教室などの機能を備え合わせた都市農村交流施設として、平成30年度にオープンしました。



ふるさと体験交流館（街道HOSTELおたて）イメージ図



【食堂】

郷土の伝統料理を始めとした豊富なメニューを供給するため飲食スペースと厨房を整備しました。また、地域のコミュニティの場としての活用も図っています。

【入浴場】

夜には窓から眺める星空、季節ごとに楽しめる全国の有名温泉成分のお湯で、清潔で様々なニーズに対応する入浴施設です。

【交流スペース】

閉校した校舎の雰囲気そのままに、古き良き時代にタイムスリップさせてくれる教室です。地域の人のための思い出の空間を残して、新たな施設として活用しています。

【研修室】

料理教室やそば打ちなどの体験ができるスペースです。地域内外の人たちが料理を楽しみ、交流の場として活用しています。

○事業費

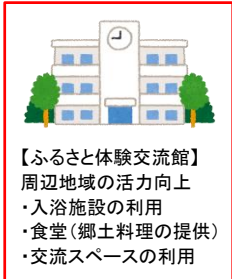
工事費	335,016千円
備品購入費等	32,908千円
合計	367,924千円

○財源

農山漁村振興交付金	150,000千円
中山間地域所得向上支援事業交付金	10,000千円
過疎対策事業債	144,000千円
一般財源	63,924千円
合計	367,924千円

周辺地域の活力向上

グラウンド・ゴルフの練習・大会（継続の交流）



入浴場の利用
レストランの利用
（新たな交流）



地域内の新たな交流場
交流イベント
（新たな交流）

地域交流イベント



推進するグリーンツーリズム体験プログラム

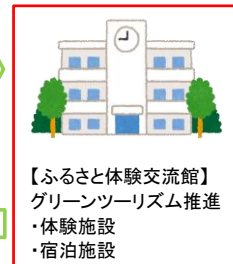


都市農村交流（グリーンツーリズム）のイメージ

地元食材の使用
体験イベントの講師
（雇用者数の増加）



雇用の創出！
農家の所得向上！
中山間地域の活性化！



ふるさと体験交流館へ来館
（滞在者数・宿泊者数増加）

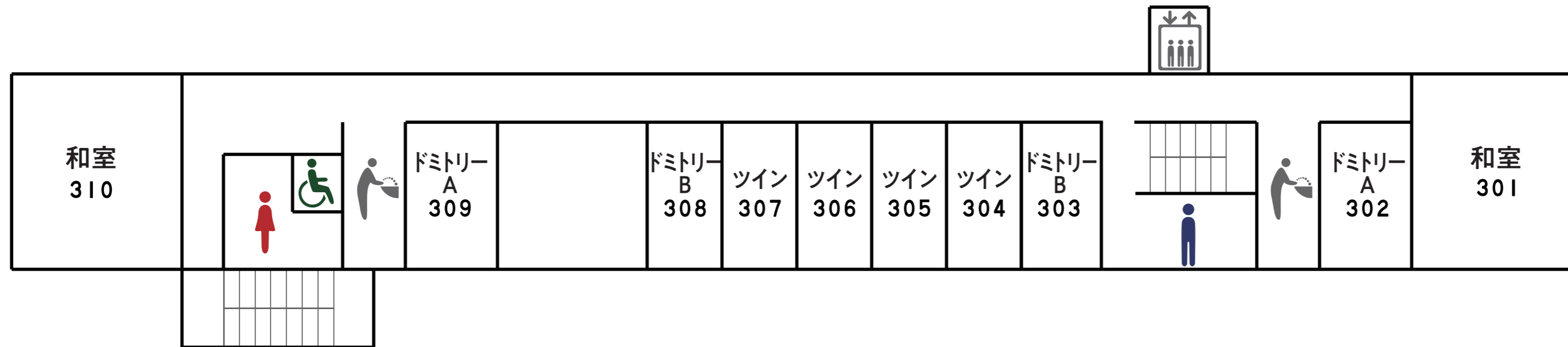


グリーンツーリズムの実施
・農業体験（滞在や宿泊）

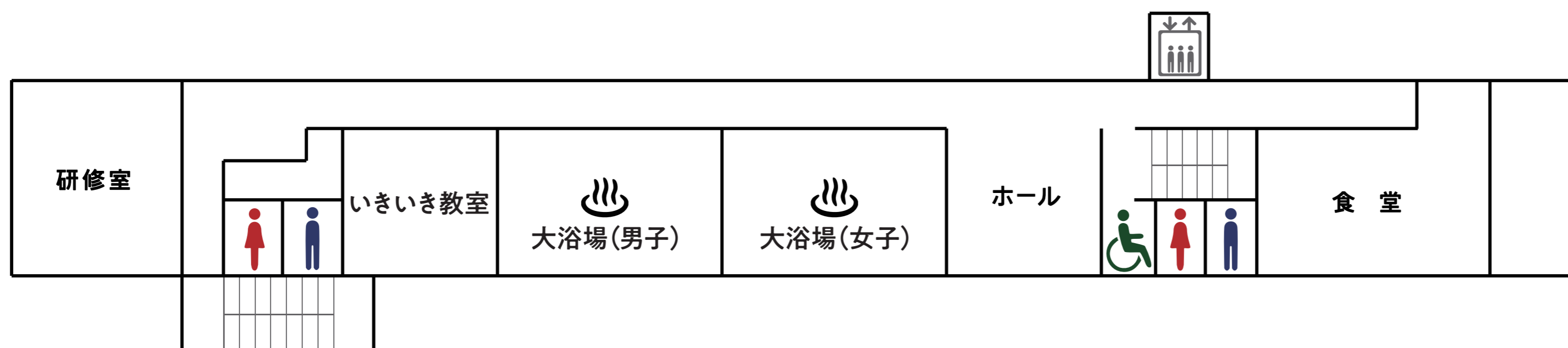
ご案内

Infomation

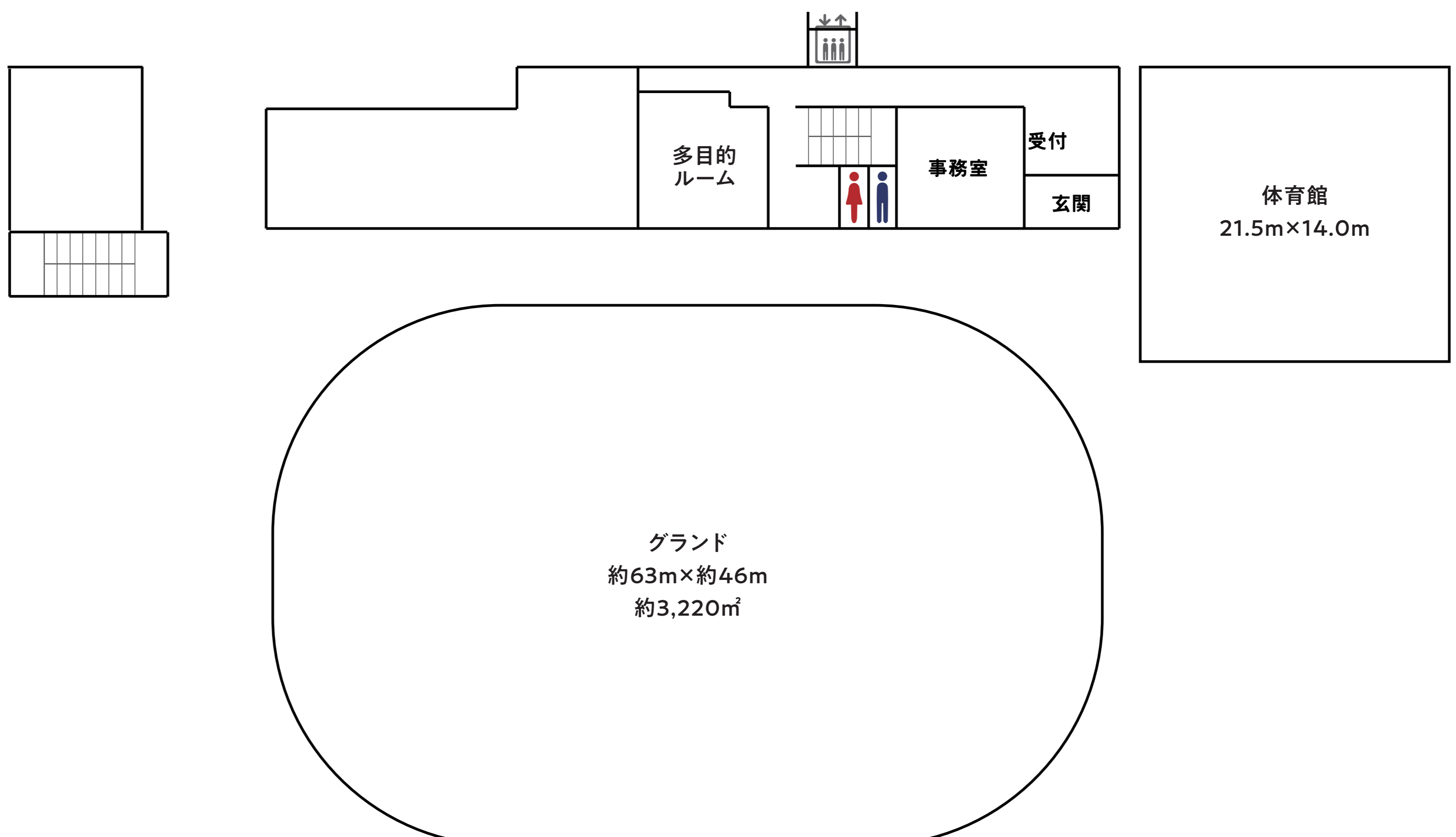
3 F || 宿泊室301~310

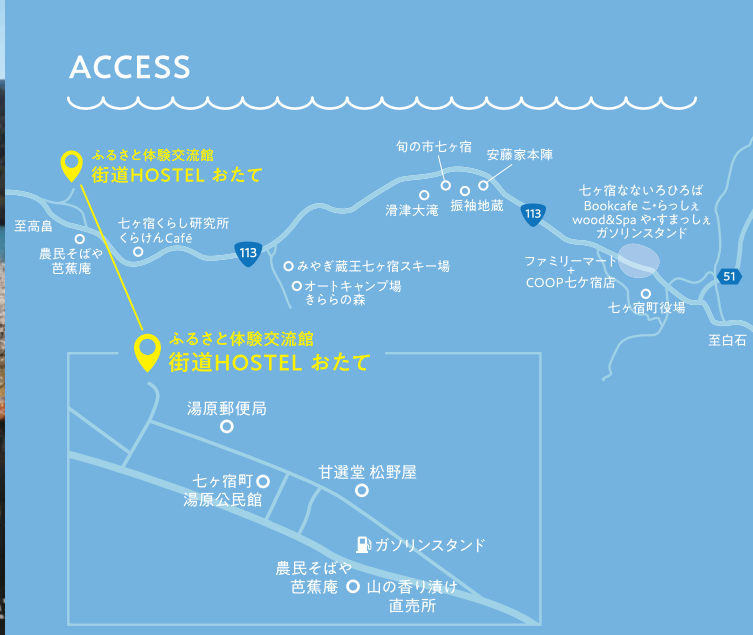


2 F || 食堂 ホール 大浴場 いきいき教室 研修室



1 F || 受付 事務室 多目的ルーム 体育館





山形・高島方面からのルート

東北中央自動車道・南陽高島IC → おたてまで国道113号線にて約25分

白石からのルート

東北自動車道・白石IC → おたてまで国道113号線にて約50分

ご予約・お問い合わせ

TEL: 0224-26-8877 FAX: 0224-26-8876

<http://shichikashuku-miyagi.co.jp>

〒989-0657 宮城県刈田郡七ヶ宿町字町裏81
info@shichikashuku-miyagi.co.jp



Enjoy Local



街道HOSTEL
おたて





七ヶ宿町は、町中がパワースポット！

ここから最寄り駅までは50分
コンビニまでは15分
生活に便利とはお世辞にも言えません

だけど、
目の前にある大自然を見たら
「わあ！」
きっとワクワクすることでしょう

街道HOSTELおたては
その大自然に飛び込む体験ができる場所

さあ、
七ヶ宿の大自然パワーを浴びながら
素敵な体験をしてみませんか？

七ヶ宿町湯原地区の旧小学校がコンバージョンされて
宿泊施設に生まれ変わりました。

町の豊かな自然に触れられる体験・宿泊プランをはじめ、
お食事や日帰り入浴、セミナーやサークルの合宿会場として
利用して頂くことができます。

街道HOSTELおたては七ヶ宿の自然・伝統・文化に触れ
ながら、ふるさと体験や交流ができる宿泊施設です。

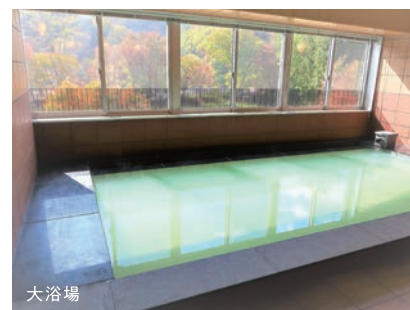
セミナー・合宿には
ドミトリ洋室A・B



ドミトリ洋室A



交流スペース



大浴場



ビジネスホテル感覚の

ツインルーム



最大10人が宿泊できる

ドミトリ和室

宿泊料金(税込)

部屋タイプ	料金/人 (朝夕2食付)	料金/人 (朝食付)
ツインルーム(定員2名)	¥8,500	¥7,000
ドミトリ洋室A(定員8名)	¥7,000	¥5,500
ドミトリ洋室B(定員8名)	¥6,500	¥5,000
ドミトリ和室(定員10名)	¥7,000	¥5,500

チェックイン 15:00～ チェックアウト ~10:00

朝食 7:00~8:30 夕食 18:00~20:00

○ツインルームの2名利用時、朝夕2食付は¥7,500、朝食付は¥6,000となります。
○ドミトリ洋室Bは3名、ドミトリ和室は6名からご利用いただけます。
○他に素泊まりプランもございます。○部屋着の用意はありません。

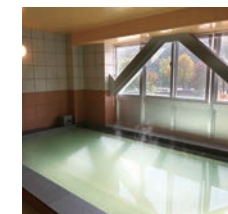
人工温泉

日帰り入浴 営業時間 13:00～

季節ごとに温泉成分を入れ替えますので、
四季折々に全国の有名温泉をお楽しみいただくことができます。

利用料金 大人¥500 子ども¥250

●子ども料金は小学生まで ●町民割引あり
●貸しタオルセット ¥200



おたて食堂

お食事・ランチ 11:30~13:30

七ヶ宿ブランド源流米や、おたて農園で採れた
野菜(時期による)を使用したメニューを
中心に、七ヶ宿の郷土料理(家庭料理)など
をご提供しています。

●宿泊以外の方もご利用いただけます。



宮城県

しちか しゆく まち
七ヶ宿町

ゆの はら
湯原集落

～源流と農業を守る「豊かなむらづくり」～



令和4年6月

湯原集落協定

(代表 山田益広)

○湯原集落の位置と概況

七ヶ宿町は、宮城県南西部に位置し、県内有数の豪雪地帯で、山林の割合が92%を占める山間地域である。

令和4年5月現在の人口は1,276人で、県内の市町村の中で最も少なく、65歳以上の高齢化率は44%（県平均28%）と最も高い。

湯原集落は、七ヶ宿町の最も奥で、山形県境に近接、白石川源流に展開する山間農業地域である。

また、古来より「そば」の生産と、源流を活かした水稻の生産がなされている。



湯原集落



○七ヶ宿の歴史(概要)

七ヶ宿(しちかしゆく)の名前の由来は、藩政時代、羽州街道と奥州街道をつなぐ道に「上戸沢」、「下戸沢」、「渡瀬」、「関」、「滑津」、「峠田」及び「湯原」の七つの宿場が一里置きにあったことから、この街道を「七ヶ宿街道」と呼ぶようになった。

七ヶ宿街道は、出羽国の大名家(13藩)が、参勤交代(江戸と国元の行き来)の際に往来、また様々な人達が出羽三山詣などで往来、宿場町として栄えていた。



旧七ヶ宿街道 (集落部)



旧七ヶ宿街道 (山間部)

<七ヶ宿街道を利用した藩>

1 秋田藩	2 1万石	8 本荘藩	2万石
2 庄内藩	15万石	9 天童藩	2万石
3 弘前藩	10万石	10 亀田藩	2万石
4 新庄藩	7万石	11 黒石藩	1万石
5 山形藩	6万石	12 長瀬藩	1万石
6 松山藩	3万石	13 矢島藩	1万石
7 上山藩	3万石		

○現状把握と課題の整理

湯原集落は、条件が不利な山間地域に位置し、主な産業は農業であるが、小規模経営のため、農業の維持が難しく、離農が多かったことから、農地の維持管理が危惧された。

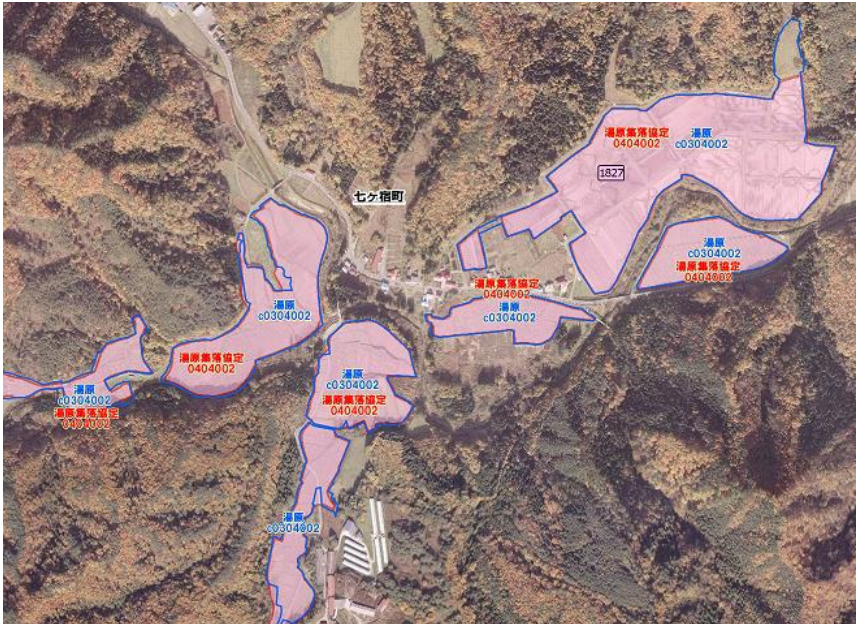
これを打開するため集落内での話し合いの結果、土地基盤整備と併せ、平成10年から**認定農業者や農業法人の経営体へ利用権設定**を行い、徐々に**農地の集積**を図ることになった。



山間にある湯原集落



住民の話し合いの様子



現在における湯原集落の協定農用地

その一方で、近年、野生鳥獣（特にイノシシと、サル）による農作物の被害が発生し、その対応にも苦慮していたことから、集落外にも支援を求め、**鳥獣害対策にも乗り出す**ことになった。

○湯原集落協定の活動(概要)

①平成12年度～

農業生産活動等を継続するため、**中山間地域等直接支払制度の「湯原集落協定」**を締結
水路、農道の草刈り等共同取組活動を実施

②平成27年度～

多面的機能支払交付金制度にも取り組み、「**湯原農業協力隊**」の立ち上げ
水路、農道、農地の法面等の草刈作業を非農業者とともに実施
中山間地域所得向上支援事業を活用し、鳥獣害対策(ワイヤーメッシュー体型電気柵)を導入

③平成29年度～

農山村集落体制づくり支援事業を活用し、地域の課題解決(鳥獣害対策、豪雪対策等)に取り組む



集落維持活動



水路の清掃



寄合

○湯原集落のむらづくり役割分担

多面的機能支払交付金の活動組織と重複

湯原集落協定

【地域活動】

- ・有害鳥獣害対策(中山間支払)
- ・農地の維持管理(中山間・多面支払)
- ・集落の維持管理(除排雪)

農業協力隊 (草刈り点検水路清掃)

湯原自治会

- ・スノーフィールズ(雪かき隊)

- ・イノシシバスターズ
- ・スノーバスターズ

実行部隊

非農家・女性会

農地の集約
生産の安定

各種交流・イベントの実施
(地域づくり計画)

支援・連携

日本型直接支払協議会
(負担金支出・交付金事務支援)

他の直払
4組織

連携

七ヶ宿町

指導

農業者【営農活動】

- ・認定農業者
- ・農業法人

源流米生産・販売
そば生産・6次産業化
企業との連携

宮城県

- ・農山村集落体制づくり支援事業
(受入体制整備支援)
(援農ボランティア等の募集・支援)
- ・中山間地域所得向上支援事業交付金
- ・鳥獣被害防止総合支援事業交付金
(獣害防止柵)

募集協力

○湯原集落の豊かなむらづくりのポイント

～地域内外との柔軟な結びつき～

- ・集落協定を中心に自治会，農業者等の連携強化
- ・農地の利用集積(20年前と変わらない面積を維持)
- ・農作物を「水稲」と「そば」に絞り込み(生産の効率化)
- ・農業協力隊を組織(集落出役体制の整備)

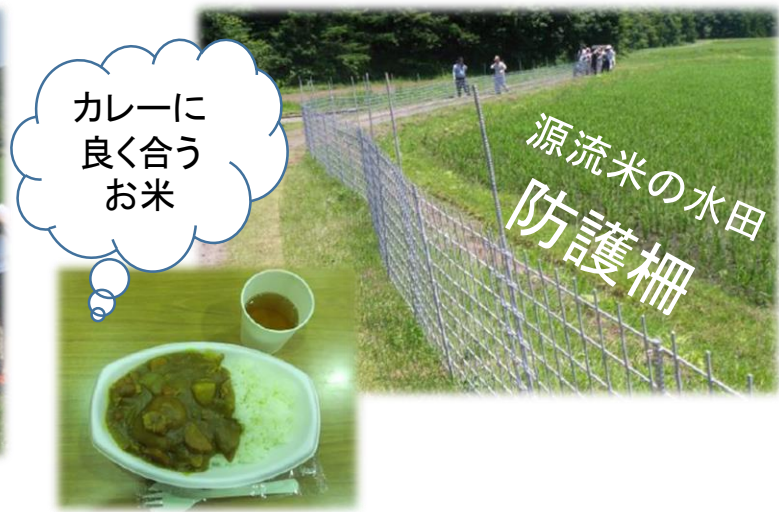
- ・町外からのボランティアを受け入れ
(いのししバスターズ，スノーバスターズ)
- ・農村と企業の連携
- ・四季を通じた様々な交流・イベント

地域活動・営農活動の両輪展開

地域活動に農山漁村集落体制づくり支援事業を活用

○地域活動① いのししバスターズ (獣害対策 実行部隊)

近年，湯原集落では，イノシシやサルによる作物被害が増えている。
集落の米，そば，野菜等の農産物を守るため，平成29年度から事業を活用して**援農ボランティア**を募集し，**これまでに防護柵の組み立てや防護柵設置（計11.5km，農地約38.5ha）の活動**。県内外から延べ75名が参加。作業の終了後には，協定構成員が作った「源流米カレー」等をお振る舞い。



☆防護柵の設置により，
農作物の被害が**激減！**
H28 8.2ha 2,820千円
↓
R3 0.1ha 6千円



○地域活動② スノーバスターズ (除雪対策 実行部隊)

七ヶ宿町は平均年間積雪量が**2 mを超える豪雪地帯**。集落では「湯原スノーフィールズ」を組織して活動が行われている。

事業を活用し、県内外から除排雪作業のボランティアを募集し、平成29年度から「**スノーバスターズ**」による**除雪活動**。2カ年で約90名が住民と除雪に従事。

高齢者世帯を中心に約12軒の除雪を行っている。作業の終了後には、協定構成員が作った「豚汁」等をお振る舞い。



みんなで
雪下ろし!



大作戦



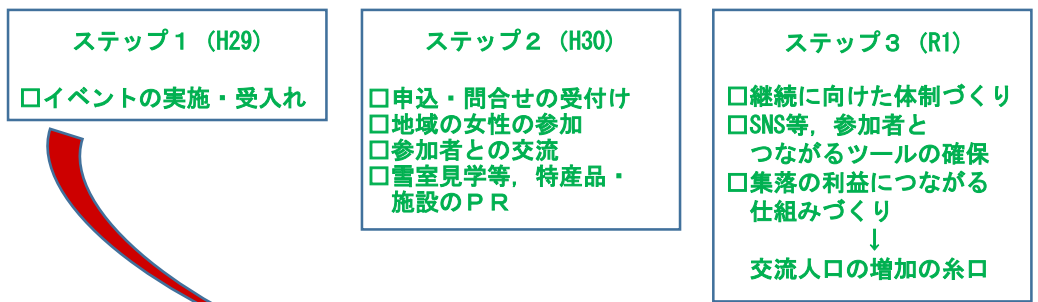
スノーバスターズへ
食事の提供



完了!

○事業を活用した体制づくりの進め方と実績

体制整備の進め方

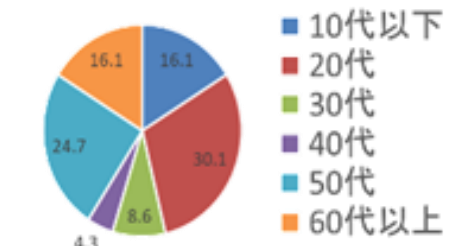


集落の
自立度
UP!!

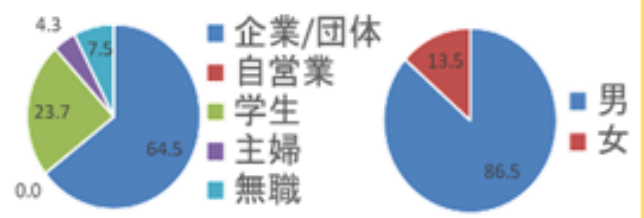
ボランティアの受入れ人数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	計
いのししバスターズ	38	28	9	75
スノーバスターズ	55	35	—	90
計	93	63	9	165

参加ボランティアの構成



年齢別参加者割合(%)



職業別参加者割合(%)

性別参加者割合(%)

- 年齢別では10, 20代が5割, 50代が2割強。
- 職業別では企業/団体と学生で9割。

○参考 ボランティア募集をかけた県内大学

宮城学院女子大学	リエゾンアクションセンター
東北工業大学	八木山キャンパス, 長町キャンパス
石巻専修大学	学生支援担当
東北大学	ボランティア活動支援室
東北学院大学	ボランティアステーション
宮城教育大学	就職支援係
仙台白百合女子大学	学生課
仙台大学	学生支援室
東北文化学園大学	地域連携センター
宮城大学	大和キャンパス, 太白キャンパス
宮城誠真短期大学	
仙台青葉学院短期大学	五橋キャンパス, 長町キャンパス, 中央キャンパス
東北生活文化大学短期大学部	学生課
聖和学園短期大学	
尚綱学院大学	学生生活課
東北福祉大学	学生生活支援センターボランティア支援課
東北生活文化大学	学生課

17

○県あるいは委託業者からの相談・募集願い

- 大学の担当部署で学生向け掲示板, メール等で募集の呼びかけ
- 担当部署経由あるいは学生から直接の申込み

○大学側は学生のボランティア活動を履修単位に位置づけていることもある

- 地区の事務局でボランティア証明書等を学生(大学)あてに発行してあげる
- 大学と地区のつながりが形成。継続できる活動**につなげる

○県あるいは委託業者から地区の事務局へ

- 連絡先の共有, 連絡方法の伝達など, 地元で連絡できる体制づくり

○地域活動③ 農村と企業の連携(交流)

サッポロビール(宮城県名取市)との連携

○サッポロビール社員とその家族との農作業を体験

サッポロビール仙台工場は、醸造用水の水源「七ヶ宿ダム」がある宮城県七ヶ宿町の水と水源を守る活動に共感し、平成21年から湯原集落での米づくり体験などに従業員とその家族が参加している。(※交流人口:延べ100人/年)

○七ヶ宿産「源流米」(やまのしずく)を使用した、ご当地ビール「仙南クラフトビール」=”米(マイ)ラガービール”が平成30年度に試作!

○黒ラベル東北ホップ(平成22年度~製品化)もあります。



田植え作業に参加したサッポロビールの社員と家族

一本700円 (税別)



こっちも うまい!



○宮農活動① 「七ヶ宿源流米」の生産

～農地を守る11人のおやじ，良食味米を追求～



水路へ木炭袋の設置
(町産の炭を使用)

○宮城県の奨励品種「**やまのしずく**」が，平成20年に七ヶ宿町で試験栽培されたことを契機に，町内生産者11人で「七ヶ宿源流米ネットワーク」を結成。

湯原集落では農地面積46.7haのうち，**水稻20.8ha**をネットワーク内の1法人で生産。

○第12回米・食味分析鑑定コンクール国際大会において「**たきたて**」が**金賞**を受賞。

○食味向上を図るために，源流・清流に加え，**水田へのカキ殻施用，水路へ木炭の設置**，特別栽培により生産した米を「七ヶ宿源流米」として**ブランド化を推進**。

○町内にある全寮制の**西山学院高等学校**，地元小中学校及び，仙台駅（「みやぎ蔵王弁当」）にも供給している。

○地元小学校と稲刈り作業で交流に取り組む。



○営農活動②「そば」の生産

～そばといえば「七ヶ宿」、そば街道の実現！～

藩政時代から、そばが栽培され伊達家へ献上していた。「七ヶ宿街道」は「そば街道」とも言われていたことから、遊休農地を解消し、特産品のそばを復活させようと、農地21haで、そばの生産と加工・販売が行われている。

そばの花は、蜜源としても利用。



～七ヶ宿そば街道「新そばまつり」～

町内にある5軒のそば屋のうち、集落には2軒のそば屋がある。そばの収穫が終わる11月には、「七ヶ宿そば街道」の5店舗が（平成20年度から）「新そばまつり」を開催している。※5店舗のスタンプラリー有り。

2019年で12回目を迎えた人気イベントで、もりそば1枚500円という価格で食べることができる。

毎年延べ2,000人が訪れ賑わっており、地区の交流人口に寄与している（2020年と21年はコロナ禍で中止）。



新そばまつりの様子

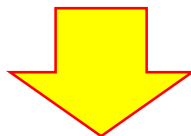
〇まとめ

1 地域活動(地域づくり面)では

- ・鳥獣害対策と除排雪にボランティアを活用する体制構築, 集落住民との交流
- ・農村と企業の連携による農作業体験, 「七ヶ宿源流米」とコラボした製品開発
- ・「新そばまつり」の開催による関係人口の拡大

2 営農活動(生産面)では

- ・協定を土台とした, 農地集積と多面的機能等への取り組み
- ・20年前と変わらない農地面積の維持
- ・「七ヶ宿源流米」のブランド化, 木炭とカキ殻使用
- ・そばの安定多収栽培と「七ヶ宿そば街道」の復活



～ザ・ワンチーム★～ としての活動

○湯原集落の案内マップ

ようこそ!
いらっしゃい



湯原コミュニティーセンター
(集落の拠点)

街道Hotel
おたて
(リノベーション)

農民そばや「芭蕉庵」

湯原地域マップ

そばがおいしい
みどころたくさん
自然豊かな地域です